



はとの子だより

No.3 令和8年5月18日(月)発行

学校教育目標 自律 のびのび きびきび わくわく

子どもの健やかな成長のために

令和8年度がスタートして、もうすぐ2カ月になろうとしています。5月14日(木)には、児童会開きが行われました。

今年度の児童会テーマは「虹の架け橋」。楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、各委員会のメッセージからは、全校が一つになって、諸問題を解決していこうとする意気込みを感じました。

その一方で、新しい環境への慣れや疲れから、生活や学習の姿勢に緩みが見えてきました。校内を回っていると、友達に対して思いやりのない言動をしたり、誤解から友達同士のトラブルが発生したりと、気になる様子が目に留まるようになりました。

児童会開きの後、生徒指導主事の石井知徳先生から、子どもたちに次のようなお話をいただきました。

「学校生活の中で、一番楽しかったこと、うれしかったことは何ですか。」

3人の子どもたちの発表の後、石井先生はお話を続けました。

3人のみなさん、ありがとうございます。また、全校のみなさんも拍手やうなずき、ありがとうございます。今、このアリーナの雰囲気が安心した温かいものになりました。

さて、みなさんの教室は今のような安心できる教室ですか。もしかすると、安心できていない人もいるかもしれません。不安な教室となってしまうのは残念です。原因は、暴言、暴力、からかい、あおり、こそこそ話をされる、何か避けられるということが考えられます。そのような不安な部分をなくすためにできることは何でしょうか。それは、先ほど、みなさんがしてくれたように、頑張っている人に拍手をしたり、うなずいたり、ほめたりするなど、人と人が優しく関わるのが一番大事だと先生方は思っています。



一人一人が人と温かく関わることで、児童会テーマである「虹の架け橋」のように素敵な附属小になると信じています。

最後に、一つお願いがあります。もし、悩んでいることや困っていることがあったら、その日のうちに先生方にお話ししてください。先生方はみなさんの力になります。お家にモヤモヤを持ち帰っても解決できないことがあります。先生方に相談して、スッキリした状態でお家に帰ってほしいです。

人と人との優しく思いやりあふれる附属小を目指していきましょう。

学校では、一人一人の子どもの小さな変化やサインを見逃さず、丁寧な状況把握に努めるとともに、「自分がされて嫌なことは人にしない」「相手の立場に立って行動する」という指導を、全教職員で根気強く続けています。

子どもの健やかな成長には、学校と家庭が、車の両輪となり、同じ方向に同じ速さで歩いていくことが不可欠です。4月24日（金）のPTA総会の場でも話しましたが、次の点を今一度ご確認ください。

◆対話の時間を大切に

「今日はどんなことが楽しかったかな」「友達とどんな話をしたの」など、学校での様子を聞いてあげてください。親子の対話が、子どもの「心の充電」につながります。

◆生活リズムの安定を

大人は、子どもに疲れがたまっても気付いていないことがあります。学習への集中力や心の安定は、十分な睡眠や食事などから生まれます。

子どもが明日も元気に登校したくなる学校を、保護者の皆様と一緒に創り上げていきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。

さて、5月23日（土）には、「はとの子運動会」が開催されます。

グラウンドからは、学年種目、色別表現や色別対抗男女選手リレーなどの練習に取り組む元気な声が聞こえてきます。

当日は、子どもたちの頑張りに、温かい拍手と声援を送っていただければ幸いです。

皆様のご来校を、教職員一同、心よりお待ちしております。

ご厚意ありがとうございます

今年も、村井雅豊先生の心のこもった＜千家生花＞が、子どもたちや私たち教職員、来校者の方々の心を、和ませてくれています。いつもありがとうございます。

